

学年毎の目標の段階表【小学校 第4学年】

話すこと (I) → 『Spoken Interaction』 話すこと (P) → 『Spoken Production』
 読むこと (音) → 『音読』 読むこと (理) → 『内容理解』

コミュニケーションへの関心・意欲・態度		外国語理解・表現の能力				言語や文化についての知識・理解		
取組 () / 継続		話題	内容	方法	程度	言語知識	文化理解	実施時期・方法
聞く (I)	<ul style="list-style-type: none"> 分らない語句等があっても、類推しながら積極的に聞いている。 相手の話に "Really?", "Me,too."等、驚きや感嘆の言葉をつけ加えながら積極的に聞いている。 間違うことを恐れず英語を積極的に聞いている。 相手を見て、話し手に注意をはらって積極的に聞いている。 笑顔等で話し手をリラックスさせながら積極的に聞いている。 理解できないことを表情等で示しながら積極的に聞いている。 うなずいたり、"OK."等の表現を用いたりして、理解していることを示しながら積極的に聞いている。 	自分自身や身近な生活、及び多治見市について	好きなことやしたいこと、その理由、できること及び地域の魅力や自分の出生時の様子等を	聞き取りにくかったときに自信のない言葉を上昇口調で繰り返し、相手に確認しながら <ul style="list-style-type: none"> 話の内容のポイントを繰り返すことで、理解していることを、伝えながら 大切な言葉や強勢のある言葉を手掛かりにして 聞き取れない時や理解できない時"Pardon?", "One more time, please."等で繰り返しを求めながら、 	ゆっくりはつきりと話される4～5文程度の英語を聞くことができる。	自分の出生時の様子等を問答する言語材料について正しく理解している。	家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動に必要な文化背景について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステスト 第1回「こんにちは赤ちゃん」 第2回「あなたのおこがれの職業は？」 第3回「わたしたちの夢の家」 第4回 1年間のまとめ 各単元末に行う言語知識を計るテスト (チャレンジクイズ) 聞くことを指導の中心とする単元後に行う、まとまりのある英文を聞き取れるかどうかを計るリスニングテスト
	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手の表情を見るなど、話を理解しているか確認しながら積極的に話している。 間違うことを恐れず英語を積極的に聞いている。 相手を見て、話し手に注意をはらって積極的に聞いている。 笑顔等で話し手をリラックスさせながら積極的に聞いている。 "OK?"等の表現を用い、聞き手が理解しているか確認しながら積極的に話している。 	自分自身や身近な生活及び多治見市について	好きなことやしたいこと、その理由、できること及び地域の魅力や自分の出生時の様子等を	<ul style="list-style-type: none"> 大切な部分に強勢を置いたり、大切な部分を繰り返したりして、伝えたいことを強調しながら 相手が理解しにくい時に、身振り、手振り等で説明を加えながら 絵や写真、具体物等を指し示して分かりやすく 聞き手に伝わる適切な音量と明瞭な音声で 英語特有の音やリズム、イントネーションで、発音しながら 	1 2語前後、2～3往復程度の英語で話すことができる。	これまでに学習してきたことに加え、地域の魅力や自分の出生時の様子等を問答する言語材料について正しく理解している。	家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要な文化背景について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステスト 第1回「こんにちは赤ちゃん」 第2回「あなたのおこがれの職業は？」 第4回 1年間のまとめ
話す (I)	<ul style="list-style-type: none"> 聞き手の表情を見るなど、話を理解しているか確認しながら (積極的に) 話し続けている (話している)。 間違うことを恐れず英語を (積極的に) 聞き続けている (聞いている)。 相手を見て、話し手に注意をはらって (積極的に) 聞き続けている (聞いている)。 笑顔等で話し手をリラックスさせながら (積極的に) 聞き続けている (聞いている)。 "OK?"等の表現を用い、聞き手が理解しているか確認しながら (積極的に) 話し続けている (話している)。 	身近な生活及び岐阜県について	地域の魅力や自分達が考えた夢の家の特徴等を	<ul style="list-style-type: none"> 大切な部分に強勢を置いて 相手が理解しにくい時に、身振り、手振り等で説明を加えながら 絵や写真、具体物等を指し示して分かりやすく 英語特有の音やリズム、イントネーションで、発音しながら 	2～3文程度の英語で話すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> これまでに学習してきたことに加え、地域の魅力や自分たちが考えた夢の家の特徴を説明するときに使う言語材料について正しく理解している。 英語特有の音やリズム、イントネーションを理解している。 	家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要な文化背景について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステスト 第3回「わたしたちの夢の家」 第4回 1年間のまとめ
読む (音)	<ul style="list-style-type: none"> 間違うことを恐れず積極的に音読している。 読み間違えたときに読み直して積極的に音読している。 	身近な事について	動物やスポーツ、食品等の名前を	<ul style="list-style-type: none"> 語の長さやローマ字読みを手がかりにししながら、声量や明瞭さに留意して 語の基本的な強勢に留意して 現代の標準的な発音で 文字の形を手がかりにししながら、声量や明瞭さに留意して 見本と見比べながら、声量や明瞭さに留意して 	1語 3～5文字程度からなる単語を音読することができる。	動物やスポーツ、食品等の名前を示す身近な単語の読み方を正しく理解している。	家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な文化背景について理解している。	授業内における行動観察 第4回パフォーマンステスト
読む (理)	<ul style="list-style-type: none"> 内容を理解しようと積極的に単語を読んでいる。 読み方が分からない場合に、イラスト付き単語カードを手がかりにして積極的に読んでいる。 	身近な事について	動物やスポーツ、食品等の名前を	学習した単語の知識を活用して	1語 3～5文字程度からなる単語の意味を理解することができる。	動物やスポーツ、食品等の名前を示す身近な単語の意味を正しく理解している。	家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な文化背景について理解している。	文字特化 (読む) 単元「ペットショップを開店しよう」におけるワークシート 文字特化 (読む) 単元「ペットショップを開店しよう」の後に行うペーパーテスト
書く (I)	<ul style="list-style-type: none"> 間違うことを恐れず、アルファベットの太文字、小文字を積極的に書くようにする。 分らない文字がある場合には、見本を調べ、それを手がかりにして積極的に書いている。 アルファベットの太文字と小文字を形作ったり、書いたりする活動に積極的に取り組んでいる。 見本を手がかりにして積極的に書いている。 			<ul style="list-style-type: none"> 読み手が理解しやすいように丁寧に 正しい文字の大きさや位置で 形や4線を意識して 	アルファベットの太文字と小文字全 52文字を正しく書くことができる。	アルファベットの太文字と小文字の形と、4線の上の正しい位置を理解している。	家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要な文化背景について理解している。	文字特化 (書く) 単元「アルファベットを書く」におけるワークシート 文字特化 (書く) 単元「アルファベットを書く」の後に行うペーパーテスト